

農業・地域・人の間を心地よく

たむぎ園

農業委員会

だより

第1号

発行日：平成30年度

発行責任者：西海市農業委員会

TEL:0959-37-0080



「いいものを育て、カタチにしたい
西海市で始めた新しい暮らし



西海市へIターンした東京都出身の三神朋亮さん(写真:右)と、宮崎県出身の田中春菜さん(写真:左)

「思い描く理想の暮らしを一人で実現したい」と願っていた三神さんと田中さん。それを体現できるのが農業だと考え、2016年8月から福岡県の有機農家で1年の研修後、以前から風土や文化に魅力を感じていた長崎に移住先を検討。その後、移住相談会で紹介された西海市の家と畠を実際に見に行き、その環境の良さに移住を決めたそうです。

2017年8月西海市へIターン。引っ越しがらも「つむぎ園」の名で就農がスタート。耕作放棄地を作付けできる畠にするため、草刈り・石拾い・堆肥まきなどに励みながら週3日はアルバイト。慌ただしくあつという間の毎日に、ただ振り落とされないよう何とか食らいついていたという日々だったと当時を振り返ります。

それから1年が経った現在、アルバイトは退職した三神さんは專業農家に開墾した耕作面積は約60aにもなったそうです。

しかし売上は順調に伸びるもまだ厳しい経営状況ということで、これからは主力作物を10品目程度に絞り作業を効率化する方針を固め、「ここ2～3年踏ん張って軌道に乗せたい」と意気込みを見せました。

最後に、「お世話になった人や縁に恵まれたことに感謝」「暮らしを楽しむことを大切に毎日を過ごしていきたい」と語ったお二人。今後ますますの活躍に注目です。

取材

新規就農



つむぎ園

西海市西彼町中山郷

主栽培品種：春菊・菜花・スナップエンドウ・空豆・にんにく・さつまいも・里芋・ミニトマト・オクラ・かぼちゃなど

一つ、丁寧にー。 大豆の種まきに挑戦



取材

農業体験

農業体験学習の取り組みについて

● 平成30年7月10日(火)

● 場所：西海小学校下農地にて

小学生の農業体験を始めたきっかけは、女性農業委員の研修会で各地の活発な活動を知り、「私たちも地元で何かできなきか」と思ったことからでした。前女性農業委員と不耕作地を見つけ、遊休農地利用も兼ねて始めました。

この活動も3年目。途中でJA女性部と合同で行うようになり、大変だった毎回の活動前の準備や除草作業がスムーズになりました。

子どもたちと遊び感覚で農業体験ができることに、やりがいを感じています。むしった草の量は誰が多いか、芋づるの長さ比べなどを始めると、子どもたちが夢中になって作業した年も過去にはありました。畑の中を動き回り、手袋を外して素手で土の感触を楽しむ姿も見られます。

対象は毎年3、4年生で、活動を重ねるうちに4年生が3年生をリードするようになります。作業の説明も少しの言葉で動けるようになってきて、子ども達の変化を感じています。

西海市の豊かな自然に親しみを持ち、大人になってからも故郷の野菜はおいしいと思つてもらえたたら嬉しいです。



高野和美 推進委員



ご案内

ご相談

- 農地を売買したい
- 農地を貸したい
- 農地に家を建てたい



- 農地が荒れて困っている
- 所有権を移転したい



- 農地に関して手続きを考えている方は、まずは、事前に農業委員会にご相談ください。

*農地によっては農業以外の利用目的で使用できないことがあります。
※許可を受ければ農地を転用したりすると原状回復等の命令や懲罰の適用もあります。

取材

農地パトロール

優良農地をさらに活かしながら 農家の経済安定化を図る

今年は6～8月に農地パトロールを行つた。時期的に田植え準備やみかんの摘果時期と重なっている中での調査だったこともあり、大変であった。

また、今夏は記録的な猛暑日が連日続いたこともあり、農地を一筆ずつ調査して回る作業は例年よりも過酷であった。

そのような中、近年、感じることは、以前は耕作されていた農地もだんだんと耕作放棄地となってきていることだ。おまけに記録的猛暑により、雨がほとんど降っていない

ことや台風被害の影響など、今年の農業

経営はますます厳しい状況におかれていった。

今後、農地を守るために、「農地として利用されていない農地については非農地化していく、優良農地のみ残していくこと」「農業所得のみで生計がたてられるような経営安定化を図る対策」が急務であると考える。

朝長久夫 農業委員



ご案内

総会

農業委員会第12回総会

日時：12月25日（火）14時半～

場所：魚魚の宿

※余裕を持ってご提出ください。

※総会開催時間は変更になる場合があります。

ご案内

農業新聞

「全国農業新聞」の 購読について

農業経営に役立つ情報が

盛りだくさん！

●週刊（毎週金曜日発行）

なので新鮮な情報！

●長崎県版のページもあり、

県内の状況もお届け！

●記事内容が工夫されており、家族で読める内容！

●購読料月額700円（送料、税込み）

※購読希望の方は農業委員会へご連絡ください。

ご案内

農地中間管理

農地の貸し借りは「農地中間管理事業」を活用しましょう！



農地中間管理事業とは農地

中間管理機構（長崎県農業振興公社）が、農地を貸し

たい農家（出し手）から農地

を借り受けて、農地の有効

活用や農業経営の効率化を

進める扱い手（受け手）に貸

し出す制度です。農地を取

られるわけではありません。お借りするだけです。

農業振興公社の役割

●賃料を伴う契約

●賃料の徴収

出し手のメリット

●農地の借り手を自分で探さなくてよい。

●受け手が何らかの事情で離農しても機構が最長3年間は管理してくれる。

●貸付け後の利用状況は機構が確認してくれる。

受け手のメリット

●農地を持つていなくても新規就農がしやすくなる。

●出し手との協議は機構が行うため契約期間中は安心して耕作が出来る。

※詳しい内容については農業委員会もしくは西海市農業振興公社（TEL 221-1311）へご相談ください。

もっと農業を楽しもう!

農業は明日の“食と元気”をつくっている!



■ 農業委員(19名)

- 1 岩崎 信一郎(中浦南)
- 2 太田 尚臣(横瀬)
- 3 白石 幸憲(雪浦)
- 4 山崎 友好(木場・丹納)
- 5 松崎 常俊(太田和)
- 6 志田 邦彦(宮浦)
- 7 岸本 六郎(瀬戸)
- 8 知念 近海(横瀬)
- 9 高口 和子(下岳)
- 10 大串 康明(上岳・喰場)
- 11 岡修治(鳥加)
- 12 松尾 均(風早)
- 13 福田 務(天久保)
- 14 田中 初治(川内)
- 15 朝長 久夫(多以良)
- 16 辻尾 政幸(横瀬)
- 17 山下 裕史(伊ノ浦)
- 18 水嶋 政明(大島・崎戸)
- 19 三枝 政人(中山)

■ 農地利用最適化推進委員(30名)

- | 西彼町 | 西海町 | 大島町・崎戸町 |
|--------------|-----------------|-----------------|
| 1 坂本 正博(小迎) | 11 谷脇 文弘(木場) | 23 中村 哲治(大島・崎戸) |
| 2 井田 博(八木原) | 12 津田 英秋(高地・丸田) | |
| 3 宮原 信明(大串) | 13 木本 安仁(水浦) | |
| 4 松本 千代治(平山) | 14 前田 好実(太田原) | |
| 5 辻 憲治(白崎) | 15 山口 孝生(横瀬) | |
| 6 辻 昭彦(下岳) | 16 太田 義彦(横瀬) | |
| 7 平野 安雄(平原) | 17 平岩 正則(面高) | |
| 8 山口 隆(白似田) | 18 水本 徳雄(黒口) | |
| 9 浦口 大輔(亀浦) | 19 高野 和美(太田和) | |
| 10 志田 克寿(宮浦) | 20 大串 裕(中浦北) | |
| | 21 辻 良人(七釜) | |
| | 22 林 和之(七釜) | |
| | | 大瀬戸町 |
| | | 24 元山 孝志(多以良) |
| | | 25 茅場 誠(多以良) |
| | | 26 平岡 和俊(瀬戸) |
| | | 27 柿山 浩一郎(瀬戸) |
| | | 28 麻生 克典(雪浦) |
| | | 29 中橋 哲雄(松島) |
| | | 30 三根 健一(松島) |

平成30年5月25日の出席者のみ、写真を掲載しております。

ご案内

農業者年金

加入条件

年間60日以上
60歳未満

の農業従事者
国民年金第1号被保険者
(保険料免除
(者は除く)

特徴

少子高齢化に強い積立方式

自分が積み立てた保険料とその運用
益により将来の受取額が決まります。

終身年金で80歳までの保障つき

年金は生涯支給されます。80歳前に亡
くなつた場合でも死亡一時金が遺族
に支給されます。

税制上の優遇措置

支払った保険料は全額が社会保険料
控除の対象です。節税につながります。

保険料の額は自由に決められます

月2万円～6万7千円の範囲内で自
由に選ぶことができます。

保険料の国庫補助があります

一定要件を備えた意欲ある担い手に
は国庫補助があります。

※詳しい内容については農業委員会にお問
い合わせください。

